

はちなん支部ニュース

No.502 立教183年10月9日(金)
発行 天理教東京教区八南支部
支部長 柏木春秋(東青山)
例会場 東青山分教会・縮小開催

★次回支部例会場★
11月 東青山分教会
12月 東青山分教会
1月 東青山分教会



必ずお読みください

副支部長/宮倉 聡

●11月の支部例会は、最少人数で行います。

11月の支部例会は縮小開催になりましたので、11月9日、東青山分教会において、10時から11時30分まで、配布物の配布、各部各会の集金を行います。10月、11月の2ヶ月分をお納めください。(支部費は会計をご参照下さい。)

密を避けるため、出来るだけ班や組の代表の方がまとめてお持ちください。

12月の例会も縮小、1月の移動例会は中止の予定です。1月の配布物につきましては、教区が動いてからになります。2月に東青山分教会にて集金を予定しています。

会計

担当/田林久嗣

支部費の次回納入は11月9日に2ヶ月分お願い致します。
※10月の教区納入金が免除になりましたので、11、12月分の支部費とします。
※各部各会への10月分支部助成金支給も有りません。
※陽気等各部の支払いは毎月分となります。
お手数ですが、ご協力の程宜しくお願い致します

布教部

担当/常盤明浩

1)天理教基礎講座東京会場

10月11日(日)は休講となりました。
11月は8日(日)の予定 1時受付 1時30分開講
受講御供 500円 (女子スタッフを募集しております。)

2) Youtube 動画 (詳細は各ホームページで)

天理教布教部「心♡陽気ぐらし」
布教部講演講師10分程度のお話(布教部ホームページから)
※詳細は今月のチラシを参照ください。
図書出版 養徳社「陽気チャンネル」
執筆者による10分程度のお話。(養徳社ホームページから)

募金掛

担当/清水壽美夫

いつも募金に協力して頂き、有難うございます。
赤い羽根共同募金を10月、11月で集めさせて頂きます。
又、東京教区の災害たすけあい募金は随時、受け付けていますので、こちらも随時、集めさせて頂きたいと思っております。
よろしくお祈り致します。

災救隊 (支部有志)

担当/清水壽美夫

9月鋸南町のきしん報告

9月8日、13日、18日、EARTHを通じて、千葉県鋸南町のひのきしんに行ってきました。
ガラスハウスの解体に先立ち、ガラスを取り外す作業です。インパクトで金具を取り外し、カッターでコーキングを切り、ガラスをきれいに取り外したものはリサイクルに、割れたものは廃棄処分です。
割れるガラスも多く危ないので、上下作業にならぬよう注意して作業を進めました。
又、風の強い日などは外したガラスが煽られ、大変でした。それでも、八南支部のメンバーは連携が良く、慣れるに従って、効率良く作業が進められるようになりました。
まだまだ残暑の厳しい中でしたが、被災者の方が冷たい飲み物などを差し入れして下さい、大変助かりました。
支部からの参加は宮倉、青木、橋本、植松、清水で8日は4名、13日は3名、18日は5名でした。

婦人会

担当/柏木昌子

●さらし代のお願い

通知が遅くなりましたが、いつもの様に「さらし代」を1教会1,000円をお願い致します。
11月9日の集金時に併せて集めさせていただきます。
お手数ですが支部費等と共に代表の方にお渡し願います。

青年会

担当/柏木昭彦

◇献血ひのきしん期間

9月～11月末日は献血ひのきしん期間です。
※会場は都内各献血ルーム、献血バスにて
献血カード、献血ひのきしん参加カードをご持参下さい。
※現在コロナ禍により献血が危機的状況です。是非！

文化部社友・読書会

担当/和久田正興

◎今月も読者会費の集金業務はございません。来月(11月)にまとめて実施致します。
◎今月は読書会配本月となっています。
「中島みゆき第二詩集 四十行のひとりごと」
です。会員の皆様は忘れなくお持ち帰りください。
◆社友・読書会への問合せは、小笠原嶋・和久田正興まで。

少年会

担当/宮倉 聡

☆立教184年お年玉教材

立教184年お年玉教材は「ふわもこマフラー」です。今回より頒価は400円となりました。詳細は毎月、お配りしましたチラシをご覧ください。
ご希望の方は、チラシ裏面の申込書に教会名あるいは布教所名と個数をご記入の上、
★11月9日までに少年会担当・宮倉へご提出ください。
☆期限を過ぎての受付はいたしません。
☆お年玉教材は、12月9日、代金引換えでお渡しします。
☆今回は11月9日のお支払いも受付いたします。
12月の支部例会は中止予定ですので、東青山分教会へ来られない方は、受け渡し方法については、宮倉までご連絡をお願いいたします。
◆連絡先・宮倉 090-5508-5594

地区だより

『広報はちおうじ』10月1日号に愛照王分教会の飯島夫妻が「里親さんに聞いてみました」と掲載されました。
家族という見えない絆
実子の子育てを終え、里親に登録をしたのが16年前。それから、20人近い子どもたちと過ごしてきました。「すごいですね」なんて言われたりもしますが、実子の子育てと変わりはないんです。ぶつかることもあれば、とびきり嬉しいことだってたくさんある。信頼関係はそうやって築いていくものです。
今でも自立していった子たちがふらっと家に帰ってきて、一緒にごはんを食べていたりします。引っ越しの手伝いをしてほしいなんて頼まれることも。「血のつながりはなくても家族なんだ」と思える瞬間ですね。
里親と里子。特別なことなんて何もない、家族としての当たり前の毎日を共にしているんです。(広報はちおうじより)
※『広報はちおうじ』は八王子市のホームページからPDFをダウンロードして見る事が出来ます。(表紙も注目)

歩々路(ポポロ)の会

代表/芦田京子

10月の例会は6日に八王子分教会において行わせて頂きました。参加者7名、話し合いで充実した時間を過ごさせて頂きました。